

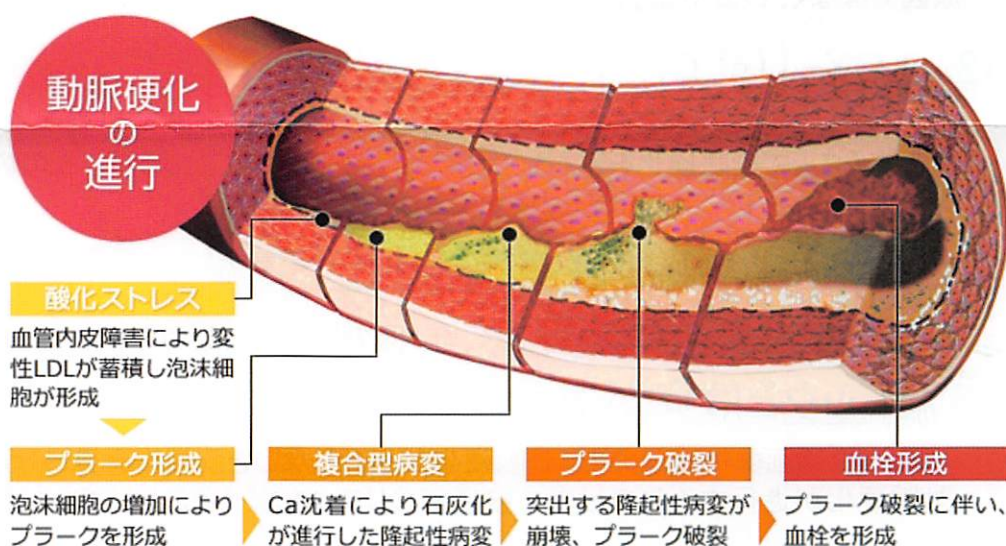
# ★新規リスク検査のご紹介★

## 脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査『LOX-index<sup>®</sup>』

### このような方にお勧めです

- **血縁家族に脳梗塞・心筋梗塞にかかった人がいらっしゃる方**
- **高血圧、脂質異常症、糖尿病にかかっており、動脈硬化が気になる方**
- **40歳以上の働き盛りの方**

動脈硬化の進行から  
将来の脳梗塞、  
心筋梗塞の発症までを  
予測できる  
新しい血液検査です。



### ロックスインデックス(LOX-index)とは

動脈硬化は自覚症状がないままに進行し、ある日突然脳梗塞・心筋梗塞といった疾病を発症してしまいます。ロックスインデックスは、動脈硬化の引き金となっている酸化変性LDL・sLOX-1という2つの物質の量を測定する検査です。ロックスインデックス検査では、脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを採血のみで予測できます。脳梗塞・心筋梗塞のリスクがあれば早めの予防対策を取りリスクを減らしていくことができます。

- 採血だけの簡単な検査
- 健診・人間ドックのオプション検査として受診可能



## ① LOX-indexとは？

動脈硬化に関連する変性LDLとLOX-1という2つの物質を調べることで、動脈硬化の進行具合から将来の脳梗塞・心筋梗塞のリスクを判定する血液検査です。動脈硬化は生活習慣を改善することで予防ができる疾患であり、早めにリスクを知り予防すること、生活習慣の改善をすることが大切です。

## ② LAB(変性LDL)とは？

ストレスやタバコなどの影響で発生した体内の活性酸素などによって酸化し、さびついたLDL(悪玉コレステロール)です。研究ではこれまで動脈硬化の原因と言われてきたLDLは動脈硬化の本当の原因ではなく、LABが動脈硬化を引き起こしている主要な原因物質であると考えられています。

## ③ LOX-1(sLOX-1)とは？

LOX-1とは血管内にあるタンパクの1種で、酸化変性LDLの受け皿です。LOX-1と酸化変性LDLは結合することで動脈硬化を進行してしまうことがわかっております。その内の一部が血管の壁から切り離され、血液中に出てきたものをsLOX-1と呼んでいます。

## ④ どのくらいの頻度で受診すべきか？

通常健康診断・人間ドックと同じく、年1回の検査をお勧めしております。

## ⑤ 脳ドックとは何が違うの？

脳ドックは画像検査なので、動脈硬化が進行しないと脳梗塞を見つけられません。LOX-indexでは動脈硬化が進行する前の段階で脳梗塞のリスクを調べることができます。

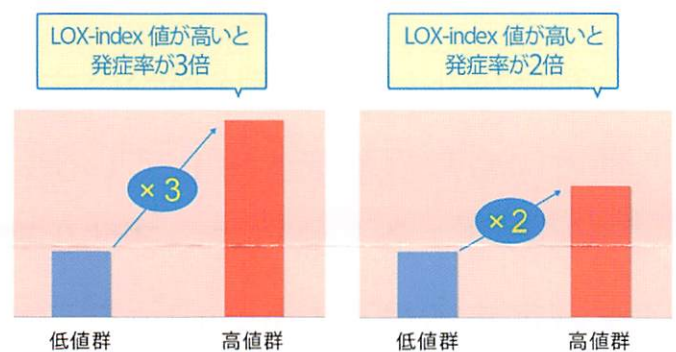
## ロックスインデックスが高い方は

動脈硬化が進行すると、脳梗塞・心筋梗塞が将来的に発症するリスクが高まります。酸化変性LDL、LOX-1の増加を促してしまう要因として、生活習慣(喫煙、過食、過度の飲酒等)、ストレス、運動不足等があります。

ロックスインデックスが高い方は、今からでも予防対策を始めましょう。

＜脳梗塞発症率との関係＞

＜心筋梗塞発症率との関係＞



引用: Clinical Chemistry 2010; v.56, p.550-558.

※ 当検査は、研究検査項目になるため診断目的で使用頂くことは出来ません。

※ 妊娠中、出産後、風邪をひかれている場合は、検査数値が高く出る可能性がございます。

※ コレステロールを下げるお薬を服用されている方は、検査数値が低く出る可能性がございます。

※ 食事制限などは無く、午後にご受診頂くことも可能でございます。